

令和4年度第1回

豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会議事概要

日 時：令和4年4月28日（木）午後2時～4時

場 所：豊能町役場2階 大会議室

出席者：委員10名、事務局3名

傍聴者：3名

1. あいさつ

2. 出席人数に基づく会の成立の確認及び傍聴承認

3. 出席者紹介及び事務局紹介

4. 【議事1】第2期豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

（1）以下の事項について事務局より説明があった。

①第2期豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

（2）主な質疑、意見

〔会 長〕総合まちづくり計画に、「子どもから大人まで。生涯、学習！」とあり、総合戦略に大人を対象とした学習の機会として生涯学習の視点を入れた方が良いのではないかと。

〔事務局〕公民館活動等の生涯学習も視野に入れているが、まずは令和8年度の学校再編に向け、学校教育の重要な視点を優先的に入れた。

〔委 員〕「地域にお金を呼び込む仕組みづくり 人がつどえる拠点トヨノステーション」等とあるが、具体的な仕組みを教えて欲しい。

〔事務局〕具体的に取り組む施策については、総合戦略に入れて具現化していくかを検討している。

〔委 員〕アクションプランの位置づけと、この審議会では何を議論するのか教えて欲しい。

〔事務局〕具体的な取り組みを実施していくためには、総合戦略に書き込む方向で審議いただきたい。

〔会 長〕委員から質問の、トヨノステーションについて何か具体的な考えはあるのか。

[事務局] トヨノステーションについては、道の駅のような拠点を考えており、地域の産物があり、町内外の人が訪れ交流ができ、自然を活かした体験型などのコンテンツも整備する方向で考えている。

[委員] 各項目は人が集まるようなアイデアが沢山盛り込まれている。ベンチャー企業の受け皿づくり、トヨノステーション、クライנגアルデンなどの場所は、西地区か東地区か決まっているか。

[事務局] 10年計画のため、まだ具体的な構想には至っていない。委員から議論もいただき考えていく。

[委員] 「快適で住みやすい環境の整備」の関連計画「豊能町地域公共交通計画」が令和6年度策定予定とあり、具体的なイメージについて伺う。また、「情報発信と憩いの拠点づくり」についても具体的なイメージを伺う。「クライングアルデン」は市民農園の認識で良いのか。

[事務局] クライングアルデンは、滞在型の市民農園を想定。町の農業者の高齢化に伴い遊休農地が増え、遊休農地を解消することや農地を有効活用するという観点から挙げている。「情報発信と憩いの拠点づくり」は、今後、具体的取り組みスキームを考えていく。

[会長] 「豊能町地域公共交通計画」は努力義務計画。コロナ禍で利用者が減少し、運転者不足などバスの維持が難しくなっている。能勢電鉄の利用も、平成7年度をピークとし、現在は1/2の利用となっている。そのような状況下で、幹線系を整理し、リレー便からデマンドタクシーへと地域の交通役割を移行していき、令和6年度までに結論付けていくことを考えている。

[委員] 持続可能な行財政運営の推進は、財政再編計画や効率化など中心になるが、仕事場を想定していく上では、行政が一番の事業所と思っているので働いてみたいなど思うような記述があった方が良い。また、公共施設の再編についてもハード面、ソフト面も併せて考えていただきたい。

[事務局] 行政改革は縮小のイメージがあるが、公共施設の再編は単に施設を減らすわけではなく、まちづくりの観点からの行政サービスの提供や利便性を含めた視点で考えている。持続可能な行財政運営の推進は行政サービスのオンライン手続きなど利便性の向上や事務の効率化を目指している。マイナスイメージではなく、プラス面も踏まえて考えていきたい。

[委員] 生まれも育ちも豊能町で、現在、豊能町で商売をしている。豊能町の自然、風土を活かした授業を保幼小で行い、紙芝居を通じて、豊能町の風土、歴史、文化を伝えている。今後、小中一貫校でも取り組み、次のリーダーとなる人を育成していただきたい。

[事務局] 総合戦略は、どの事業にも当てはまるような項目を入れ、実施計画として具体的な内容も入れていく。また関連計画についても精査する。

[委員] 農業従事者代表として、農業の項目を入れて欲しい。また、農業を通じて、災害対策や仕事のコミュニティづくりにも取り組んでいる。

[委員] 町内の経済を動かしてもらえるような農作物、農業を活性化させる施策も入れて欲しい。

[事務局] 農業の項目を入れて次回の審議会に示す。今回の審議会で、施策と主要な取り組みについて、決定いただき、次回の審議会に数値目標、KPI の審議をしたいと考えている。

[会長] 総合戦略の内容を住民に発信していくことが大事。専門用語は分かりやすく記述し、発信の方法を考えることが大事。

[委員] 「地域とともに魅力ある教育」の主要な取り組み「保幼小中一貫教育の実践」とあるが、もう少し具体性を盛り込んだ方が良い。

[委員] 以前、吉川中学校は人気があったが、減少した理由は。

[委員] 学区区分が変わったからだと思う。進学校だったので、その後、高校、大学と進み、最終的には転出し豊能町には戻らず、その保護者が豊能町に住み続けているのが現状。

[委員] 教育の質を上げて、次のステージで転出してしまうなら、子どもが沢山いたら良いなど、どこで折り合いをつけるかだと思う。10年ぐらい前に「ブタがいた教室」の映画になった舞台は東能勢小学校で、吉川中学校や東能勢小学校などと話題があった。

[委員] 自分たちの世代の時に、職場体験などがあれば、もう少し豊能町に人が残ったと思う。今後は、西地区と東地区のコミュニティが課題だと思う。

[会長] 委員からの指摘にもあったとおり、学習の質が高いことは聞いている。仕事を作ることは新名神の開通も影響があり、企業などの動きはどうか。

[委員] 大型の土地は市内には無く、能勢地域に探しにきている業者があると聞いている。

[事務局] 「賑わいを呼ぶ沿道整備」ですが、今年度、都市計画マスタープランの見直しを行う。以前は、企業団地は海側が多かったが、現在、津波被害や防災の観点から高速道路沿いである山間部に多いと聞いている。国道423号線沿いは、ほとんど市街化調整区域だが、都市計画マスタープランで緩和をかけていき、企業を呼び込みたいと考えている。調整期間はかかるが、環境整備を図りながら企業誘致を行い、仕事の間を作っていきたいと考えている。

[委員] 目標等は既に取り組んでいる内容もあり、それまでの経緯が分かる記述があれば、より分かりやすい。

〔会 長〕現状の取り組みの積み重ねか、或いは違う観点からの取り組みかが分かりにくい。取り組み施策の後に、今までの取り組みや実績などを記述するなど、検証・考え方・基本方針までの全体構成として考え直さないといけない。

5. 【議事2】第2期豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定スケジュール（案）について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①第2期豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定スケジュール（案）について

(2) 主な質疑、意見

〔会 長〕次回（第2回）の審議会で、本日の委員の意見を踏まえた内容（主に取り組む施策・主要な取り組み）の修正分と数値目標、KPIを提示し、第3回の審議会で議論していただく。

6. 【議事3】豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略期間延長（案）について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略期間延長（案）について

(2) 主な質疑、意見

〔会 長〕期間を2022年度まで8年間と延長することとし異議はないか。

〔委 員〕異議なし。

〔会 長〕期間を延長する。

〔委 員〕子どもたちが豊能町に住んでいる間に、学校だけでなく、広い教育をしていく必要がある。豊能町で教育を受けることが、特徴があり良いことだとアピールする方法として、この人口規模やエリア規模だからできる独自カリキュラムを作り、豊能町で育ち、豊能町で仕事をする仕組みを作ることも大事。教育委員会と、まちづくり担当部署との意見交換も必要だと思う。

〔事務局〕来年度からは、とよの未来科のカリキュラムを設けて、自然、文化、歴史を学ぶ授業を新たな科目として設け、豊能町を知ってもらう機会を作る。小中一貫校の9カ年で取り組む授業展開を図っていく。地元を好きになってもらう、地元を知ってもらうなどを取り組み、まちづくりと協調できるように取り組んでいきたい。

〔委 員〕私は、吉川中学校の生徒が沢山いる頃に、豊能町に移住してきたが、その後、転出した。自分の居場所が無いと都会の方が面白いので出て行ってしまう。高校生や大学生が自分の町に居場所があれば、そこで住み続けようという発想になると思う。

[会 長] 居場所は、町だけでなく地域の色々な人が作り、子どもは大人の姿を見て働く場所を決める気がする。地域の方と一緒に取り組むことが大事。
様々な意見があり、事務局の方で整理し、次回にお示しする。

6. 閉会

(1) 午後 3 時 52 分に閉会した。